



TITLE:

京大広報 No. 501

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 501. 京大広報 1996, 501: 10-19

ISSUE DATE:

1996-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209274>

RIGHT:

ファイル中には未許諾による非表示部あり.



京大広報

No. 501

1996. 4

目次

〈大学の動き〉	
部局長の交替等	11
〈部局の動き〉	
事務局消防訓練行われる	12
〈紹介〉	
—京都大学の百年（第17回）—	
昭和初期京大の入学試験	13
〈保健コーナー〉	
最近6年間の本学教職員の死因調査	14
〈文化交流〉	
欧州の暮らし	高橋延行 15
〈訃報〉	16
〈日誌〉	17
〈お知らせ〉	
京都大学春秋講義（春季講座）の開講	18
附属図書館内のリニューアル	
—利用機能の拡大—	19
〈資料〉（別冊）	
平成7年度教育研究学内特別経費による研究課題	
平成7年度京都大学後援会助成金交付者一覧	
国際教育プログラムの実施について（第一次報告）	



事務局消防訓練—関連記事本文12ページ—

大学の動き

部局長の交替等

(新任)

総合人間学部長



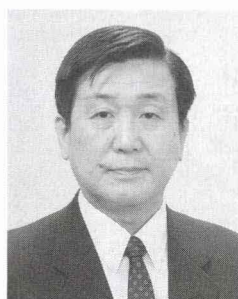
児嶋眞平総合人間学部長の任期満了に伴い、その後任として三好郁朗総合人間学部教授（言語文化論講座担当）が4月1日総合人間学部長に任命された。任期は平成10年3月31日までである。

化学研究所長



宮本武明化学研究所長の任期満了に伴い、その後任として新庄輝也化学研究所教授（無機素材化学研究部門担当）が4月1日化学研究所長に任命された。任期は平成10年3月31日までである。

大学院文学研究科長・文学部長



水垣 渉文学部長の任期満了に伴い、その後任として喜志哲雄大学院文学研究科教授（文献文化学専攻欧米語学・欧米文学講座担当）が4月1日大学院文学研究科長・文学部長に任命された。任期は平成9年3月31日までである。

原子エネルギー研究所長



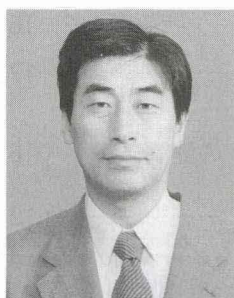
西川禎一原子エネルギー研究所長の任期満了に伴い、その後任として東 邦夫大学院工学研究科教授（核エネルギー工学講座担当）が4月1日原子エネルギー研究所長に任命された。任期は平成10年3月31日までである。

教育学部長



高木英明教育学部長の任期満了に伴い、その後任として上杉孝實教育学部教授（社会教育講座担当）が4月1日教育学部長に任命された。任期は平成10年3月31日までである。

数理解析研究所長



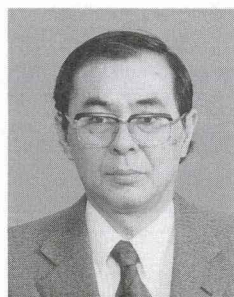
荒木不二洋数理解析研究所長の任期満了に伴い、その後任として齋藤恭司数理解析研究所教授（基礎数学第一研究部門担当）が4月1日数理解析研究所長に任命された。任期は平成10年3月31日までである。

農学部長



丸山利輔農学部長の任期満了に伴い、その後任として古澤巖農学部教授（植物病理学講座担当）が4月1日農学部長に任命された。任期は平成10年3月31日までである。

大型計算機センター長



長谷川利治大型計算機センター長の任期満了に伴い、その後任として堂下修司大学院工学研究科教授（知能情報学講座担当）が4月1日大型計算機センター長に任命された。任期は平成10年3月31日までである。

生態学研究センター長



川那部浩哉生態学研究センター長の任期満了に伴い、その後任として和田英太郎生態学研究センター教授（生態構造研究部門担当）が4月1日生態学研究センター長に任命された。任期は平成10年3月31日までである。

環境保全センター長



竹原善一郎環境保全センター長の任期満了に伴い、その後任として内本喜一郎大学院工学研究科教授（有機材料化学講座担当）が4月1日環境保全センター長に任命された。任期は平成10年3月31日までである。

放射性同位元素総合センター長



栗原紀夫放射性同位元素総合センター長の任期満了に伴い、その後任として武部 啓大学院医学研究科教授（遺伝医学講座担当）が4月1日放射性同位元素総合センター長に任命された。任期は平成10年3月31日までである。

高等教育教授システム開発センター長



岡田渥美高等教育教授システム開発センター長の任期満了に伴い、その後任として福井有公大学院医学研究科教授（社会予防医学講座担当）が4月1日高等教育教授システム開発センター長に任命された。任期は平成10年3月31日までである。

（再任）

経済学部長

菊池光造経済学部教授（比較社会・経済政策講座担当）が、4月1日経済学部長に再任された。任期は平成9年3月31日までである。

超高層電波研究センター長

松本 紘超高層電波研究センター教授（超高層電波工学研究部門担当）が、4月1日超高層電波研究センター長に再任された。任期は平成10年3月31日までである。

基礎物理学研究所長

長岡洋介基礎物理学研究所教授（物性理論研究部門担当）が、4月1日基礎物理学研究所長に再任された。任期は平成9年3月31日までである。

保健管理センター所長

森下玲児保健管理センター教授（内科学専門）が、4月1日保健管理センター所長に再任された。任期は平成10年3月31日までである。

部局の動き

事務局消防訓練行われる

3月6日（水）に事務局消防計画に基づく事務局（保健管理センター及び埋蔵文化財研究センターを含む）職員の防火教育および消防訓練が午後3時か

ら約1時間30分にわたり左京消防署の指導と協力を得て行われた。

訓練は、総勢約120名の参加のもと消防車2台、

はしご車1台が出動し、事務局本館2階南側職員休養室からの出火を想定して行われ、庶務部人事課三谷福利掛長の「訓練火事です」との通報により始まり、通報連絡、初期消火、避難誘導、物品搬出、警備誘導、救護等の一連の総合訓練が行われた。

引き続き、左京消防署員の指導のもと煙体験ハウスによる訓練と消火器の放射訓練が行われた。煙体験ハウスによる訓練は今回初めて実施されたもので、参加した全員が煙の恐ろしさを体験した。

(経理部)

紹介

—京都大学の百年（第17回）—

昭和初期京大の入学試験



昭和3年頃の学生

い。大学の学部、学科の中には第一次の募集では志願者が定員に満たぬところも多く、高等学校卒業者が無試験で入学できた例は少なくないのである。

しかし他面、大正中期以降の高等学校の相次ぐ増設の結果、東京帝大や京都帝大では入学志願者が急増し、昭和期に入ると入学競争率が著しく高まったことも事実である。元来高等学校卒業者には帝国大学への入学資格が与えられており、大正11年以降は「京都帝国大学通則」にも高等学校及び学習院の高等科文科卒業者は法・文・経済学部、同理科卒業者は医・工・理・農学部優先的に入学でき、志望者が定員を超過する場合のみ選抜試験を行うことが明記されていたのであるが、今や第一次の募集によって志願者が定員を上まわり入学試験を実施する学部や学科が俄に増加するに至ったのである。『京都帝国大学新聞』の記事によると、昭和3年から16年までの14年間に於いて、工学部の大多数の学科と医学部では毎年、また理学部と農学部の一部の学科でも大多数の年に、入試を行っている。文学部でも昭和3～10年には一部の学科、専攻で毎年入試が行われた。中でも医学部は昭和10年まで競争率が常に2倍以上、しばしば3倍に達する最難関であった。これに対して法学部は昭和5、14、16年の3回、経済学部は昭和10、14～16年の4回しか入試を行っていないが、これは両学部で第一次志願者が定員に満たなかったためでは必ずしもなく、むしろ定員を少々オーバーしても志願者全員を入学させる方針を採っていたためである。

ここで昭和10年における入試の実施状況を、同年2月21日付および3月3日付の『京都帝国大学新聞』によりながら、より詳しく見てみよう。この年、2月15日を以て締め切られた第一次の入学志願者は総数1,932名に上ったが、これは戦前における最多記録である。法学部では定員を約150名超える志願者を受験で全員入学させるが、他の6学部では入試が行われる。まず医学部では3月15、16両日、化学、動植物、外国語、数学、物理の各科目について入試を行い、農学部では3月16、17日、農林化学・農林生物両学科の入試を物理、化学、動物植物、外国語について行う。また「近來稀にみる入学志願者の激増を来した」経済学部では、3月17日に論文、欧文和訳、国史の試験を実施する。その他の学部の試験日と科目は2月21日時点では「未定」で

あり、その後3月初めまでに発表されたが、理学部では3月15日に宇宙物理学科と化学科の入試を行い、科目は前者が数学、物理、口頭試問、後者が数学、物理、化学である。文学部では入試があるのは国語国文学専攻だけであり、3月18日に国語、漢文、外国語の試験が行われる。最後に志願者が定員の約2倍に達した工学部では、7学科共通で数学、物理、化学、図画の試験を3月14、15両日実施し、翌日面接を行う（なお外国語試験は各学部とも英・独・仏語のうち一つを選択する）。以上、昭和10年には法学部を除く全学部で選抜試験が実施されたが、しかし試験を行った学部の中でも文学部や農学部では学科によって定員割れが生じており、その充足のために第二次募集を行った。その出願期限は3月末、試験日は4月初めであった。このように当時においては、入試の期日や科目の発表から試験日までの期間が極めて短かった（時には昭和5年の法学部の入試のように試験科目を当日試験場で発表する場合もあった）が、しかし試験科目は実際には毎回そう変わらなかったから、受験準備はさほど困難ではなかったのではないと思われる。なお2月15日という第一次の願書締切日、3月15日前後という試験期日、3月末の第二次願書締切りは帝国大学間で大体統一されており、また第一次募集時に二つ以上の大学、学部と同時にし願することを阻止するために願書は出身高校を経由して提出することになっていた。

以上のように、昭和初期には大学全体で入学志願者が着実に増加し入試競争が激化する一方で、学部間や学科間の競争率の開きが拡大しつつあったが、この傾向は昭和11年以降一層顕著になる。この時期には志願者数は全学的には減少に向かうが、戦時体制下での政府や産業界の要求を反映してであろうか、工学部がコンスタントに多数の志願者を集めており、また経済学部と法学部も根強い人気を保っている。

（百年史編集委員会 服部春彦）

保健コーナー

最近6年間の本学教職員の死因調査

平成元年4月1日から7年3月31日までに、本学常勤教職員の総死亡者は52人であった。平成元年から各々7人、10人、7人、10人、7人、11人の死亡がみられ、ほぼ平均化している。厚生省の人口動態統計による粗死亡率、年齢調整死亡率と比較して決して高い数字ではない。しかし、毎年かなりの人たちが亡くなっているという事実は、健康を預かる保健管理センター・診療所としては、心苦しいことである。

そこで今回は、平成元年度から6年度までの6年間に死亡した52人について、その死因などを調査した。男女の内訳では男性47人、女性5人となっている。30歳未満が3人、40歳までが2人、40歳代が115人と漸増し、50歳代が26人と圧倒的に多かった。60歳代は10人であるが、停年あるいは定年までの年齢を考慮すれば、少ないわけではない。平均年齢は52.04歳である。教官が30人で最も多く、事務官12人、技官10人という内訳になる。

次に死因別にできる限り正確に調査した。その結果は表1にまとめたようになった。

表1 平成元年度から6年度までの死亡者52人の死因別分類

悪性新生物	28人
消化器系（肝硬変など）	4人
循環器系（心疾患など）	2人
脳疾患（脳出血・脳梗塞など）	2人
呼吸器系（肺炎など）	1人
代謝系（糖尿病など）	1人
事 故（交通事故など）	4人
自 殺	7人
不 詳	3人

この表から明らかなように、半数以上が悪性新生物、つまりガンなどによる死亡であった。28人の死因である悪性新生物の内訳を表2に示したが、これは最近の全国的な傾向であるが、大腸ガンの増加が目立っている。

表2 悪性新生物による死亡の部位別分類

消化器系		血液・造血系	
大腸ガン	8人	白血病	2人
胃ガン	4人	悪性リンパ腫	2人
肝臓ガン	3人	泌尿器系	
膵臓ガン	2人	腎腫瘍	2人
呼吸器系		その他	1人
肺ガン	4人		

ガンの原因はもちろん不明であるが、例えば喫煙などはその危険因子として明らかになっている。また、成人病の予防が大切なことも明らかである。本学でも希望者に対して人間ドックが毎年おこなわれ、その結果が各自に知らされているはずである。検査を受けっぱなしにせず、何か異常な成績があればその解消に努めることも大切である。

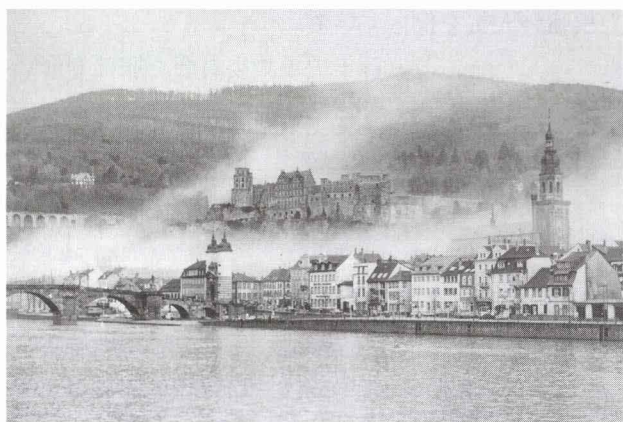
さらに、自殺者が年間1～2人みられるが、精神・心理的な相談の充実が必要であろう。

(保健管理センター 森下玲児)

文化交流

欧州の暮らし

高橋 延行



Necker 河畔より Heidelberg 城を望む

私が文部省在外研究員として、平成7年3月より10カ月間滞在いたしました欧州分子生物学研究所、European Molecular Biology Laboratory (EMBL) は、ドイツ最古の大学と、古城で有名な Heidelberg 郊外の森の中にありました。黄昏には野兎や、鹿と出会うこともあり、行き帰りの森の小道には常に小鳥のさえずりの聞こえる素晴らしい環境でした。長い歴史をもつ Heidelberg の大学には古くから哲学者や、自然科学者達が集まり、古城観光にも全世界から観光客が押し寄せるこの街の国際的な雰囲気は、Frankfurt 国際空港や、EU 議会の設置されているフランスの都市 Strasburg から1時間余りという立地条件とも相まって、少なからず EMBL の成り立ちにも反映しているようでした。

EMBL は欧州10カ国の出資により1974年に設立

され、Heidelberg の main laboratory に加えて、英国 Hinxton, フランス Grenoble, ドイツ Hamburg の3カ所の out station があります。更に現在では EU に参画しないスイスやイスラエル等も加わった15カ国が出資しており、イタリア Monterotondo にも新たな out station としてマウスセンターを建設中という具合に発展を続けています。発足時のエピソードとしては、出資に難色を示していた英国が最終的に出資をするようになった経緯に、かのサッチャー元首相が関係していました。彼女は、学生時代法学専攻に進む前は化学の専攻で、X線結晶学の講座に在籍したことがあるそうです。EMBL の設立が検討されていた当時、文化教育大臣となっていた彼女は、EMBL のプランを彼女自身で吟味し最終的にゴーサインを出す事になったそうです。ドイツを含めた欧州各国の大学のように、大教授の下に封建的な人間関係ができてしまうのを嫌って、EMBL では、終身のポジションは少なく、比較的短期の契約と、少人数グループの採用による研究の活性化がめざされています。こういった欧州らしからぬシステムを維持する事で、EMBL の独自性が育まれ、米国の分子生物学研究に対抗するための拠点として位置付けられるようです。

さて、ドイツでの暮らしについて、食生活はご想像のとおり、ソーセージとビールには事欠きませんでした。ドイツの食事で特徴的なことは、Mittag

essen といって、一日のうち、昼に最も重い食事をとり、夕方から暗くなってからは、チーズや、サンドウィッチ等で軽く済ませるという習慣があることでした。大量にビールやワインを飲んでしまうドイツ人にとっては、それくらいが良いのかもしれませんが。ところで、EMBL での食生活は、ドイツの大学等とは比べものにならないくらい恵まれているそうです。ドイツの大学の学生食堂はどこでも大変安い代わりに大変まずいのだそうです。EMBL でも以前はそれに近かったようなのですが、アメリカ人スタッフの猛烈な抗議により、シェフを替えてしまったそうです。そのお陰で、ある日はフランス風、又ある日はイタリア風、中華風とバラエティーに富む食事が楽しめるようになったそうです。住環境については、EMBL のゲストハウスに滞在したのですが、夏は気温も日本程高くなく、湿度も低く、エアコンディショナーが無くても苦痛はありま

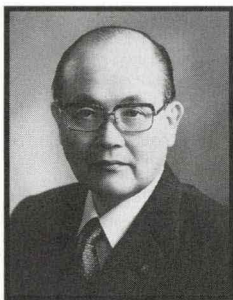
せんでした。冬は、氷柱の下がるくらい気温は下がりますが、全室にスチーム設備があり、窓の立て付けもしっかりしているので、室内は快適でした。ちょうど北海道の気候と似ているのではないかと思います。

最後に EMBL では日々の娯楽にも事欠くことはありませんでした。特に日の短くなり始める秋口から、ババリア（ドイツ南部の一地方）人主催のババリアンパーティーに始まり、アメリカ人によるハロウィーン、スコットランド人のボンファイアパーティー等、毎週末にパーティーが続き、12月のWeihnacht（クリスマス）の時期まで、とにかく、何か理由をつけて楽しんでいるようでした。どこか1カ国に滞在するよりも何倍もの経験が出来、得をした気分です。研究上も、多くの研究者との交流により得るものの多かった10カ月でした。

（たかはし のぶゆき 食糧科学研究所助手）

訃 報

富田 仁 医療技術短期大学部名誉教授



本短期大学部名誉教授富田仁先生は、2月17日逝去された。享年74。

先生は、昭和20年京都帝国大学医学部医学科を卒業、京都大学医学部附属病院志願医員、同助手、同医学部助教授を経て、

昭和52年京都大学医療技術短期大学部教授に就任、同57年に辞職され、同61年に京都大学医療技術短期大学部名誉教授の称号を受けられた。

この間、京都大学医療技術短期大学部の運営、教育研究の充実、発展に貢献されると共に、第3代主事として理学療法学科、作業療法学科の増設に尽力され、今日の短期大学部の基礎を築かれた。

先生は内科学および臨床病理学に関する基礎的ならびに臨床的研究において数多くの優れた研究業績を残され、その発展に大いに寄与された。

先生はまた日本臨床病理学会総会長・副会長・評議員、日本電気泳動学会総会長・評議員、日本アレ

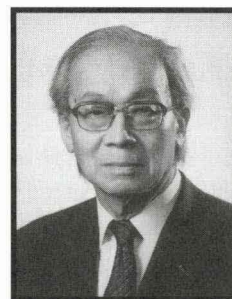
ルギー学会、日本化学療法学会の評議員を歴任され、学会の発展に尽くされた。

退職後は、社団法人京都博愛会理事長、京都博愛会病院長、京都保健医療専門学校長、社団法人京都私立病院協会副会長を務められ、我が国の医療の充実・発展ならびに地域の社会活動に重要な役割を果たされた。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

（医療技術短期大学部）

三橋 時雄 名誉教授



本学名誉教授 三橋 時雄先生は、2月29日逝去された。享年84。

先生は、昭和11年京都帝国大学農学部農林経済学科を卒業後、京都帝国大学農学部助手、助教授を経て、昭和27年同教授

に昇任され農史講座を担当された。昭和50年停年により退官され、京都大学名誉教授の称号を受けられ

た。

本学退官後は、昭和50年4月から同62年3月まで大阪学院大学教授を務められた。

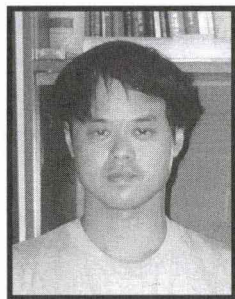
先生のご専門は、農史学の研究が中心であったが、そのなかでもとくに農業経営史学を確立された功績は大きい。また農史学、農業経済学に関わる実証的研究で多くの成果を蓄積された。

これら一連の学術上ならびに大学教育上の貢献により、昭和59年4月勲三等旭日中綬章を受けられた。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

(農学部)

安藤 志朗 文学部助手



文学部助手 安藤 志朗 先生は、3月7日逝去された。享年37。

先生は、昭和57年大阪大学文学部を卒業、同62年本学大学院文学研究科博士後期課程を終え、引続きドイツ、フライブル

グ大学で学ばれ、平成4年 Dr. Phil. の学位を取得された。同年本学文学部助手に就任され、文学部の内陸アジア研究施設（羽田記念館）に勤務された。

先生の専門は中央アジア史、イスラム学である。ペルシャ語の系譜集をもとに、ティムール朝期の部族に基盤を持つ有力者たちが王朝支配機構の中で占めた位置とその役割を克明に分析した主著『Timuridische Emire nach dem Mu'izz al-ansab: Untersuchung zur Stammesaristokratie im 14. und 15. Jahrhundert』(Berlin, 1992)をはじめとする諸著作によって、先生の名はすでに国際的に知られていた。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

(大学院文学研究科)

日誌

1996年2月1日～2月29日

- 2月1日 中華人民共和国 北京大学 遲 惠生副校長他2名来学、総長および関係教官と懇談
- 2日 安全委員会
- 5日 ブルガリア共和国 科学教育省 Jordan Stoychkov 国際交流部長他14名来学、総長および関係教官と懇談
- 6日 評議会
- 〃 大学院審議会
- 〃 平成7年度京都大学技術職員研修（第15回）（8日まで）
- 9日 大韓民国 漢陽大学校 金 鐘亮総長他2名来学、総長および関係教官と懇談
- 13日 保健衛生委員会

- 19日 核燃料物質管理委員会
- 20日 評議会
- 〃 京都大学後援会助成事業検討委員会
- 〃 将来構想検討委員会
- 〃 バングラデシュ人民共和国 バングラデシュ工科大学 Muhammad Shahjahan 副学長他2名来学、総長および関係教官と懇談
- 21日 国際交流委員会
- 〃 国際交流会館委員会
- 25日 入学者選抜学力試験（前期日程試験）（26日まで）
- 29日 総長、大学院生協議会と会見

お知らせ

京都大学春秋講義（春季講座）の開講

本学では、財団法人京都大学後援会の協力の下に、下記のとおり「京都大学春秋講義（春季講座）」を開講します。

記

☆月曜講義（5回シリーズ）メインテーマ『共生の時代』

開 講 日	講 師	テ ー マ
5月13日	名誉教授 畑中 正一	ウイルスとどうつきあうか
5月20日	総合人間学部教授 岡田 敬司	教師はどこまで他者か
5月27日	大学院理学研究科教授 河野 昭一	植物と昆虫の共生—生物間相互作用系の進化を探る—
6月3日	環境保全センター教授 高月 紘	自然との共生—環境にやさしい暮らし—
6月10日	大学院法学研究科教授 高坂 正堯	文明の抗争をこえて
定 員	150名	
受 講 料	6,000円（全講義を通しての受講料です。）	

☆水曜講義

開 講 日	講 師	テ ー マ
5月15日	大学院医学研究科教授 田中 紘一	肝臓をとりかえること
5月22日	食糧科学研究所教授 村田 幸作	バイオテクノロジーの食品
5月29日	人文科学研究所助教授 山室 信一	民族協和と満洲国の実験
6月5日	総合人間学部教授 有福 孝岳	人間性の喪失と心の問題
6月12日	経済学部教授 野澤 正徳	日本の人口の動きと経済
定 員	各講義 150名	
受 講 料	各講義 1,200円	

- 会 場 法経第二教室
 ○時 間 午後6時30分～8時30分
 ○問合わせ先 庶務部研究協力課研究協力掛（内線2041）

「京都大学広報委員会」からのお願い

『京大広報』は、今月号から紙面がA4判で、カラー印刷となります。

広報委員会では、これを機会に、親しみやすい、内容の充実した広報誌を作っていきたいと考えています。今後も読者のご意見を紙面にとりいれながら工夫していきたいと考えていますので、皆様のご協力をお願いします。

なお、前号に引き続き『京大広報』に掲載する写真・挿絵等を学内教職員・学生の方から募集します。奮って応募してください。

<応募要領>

1. 内 容：京都大学に関するものなら内容は特に問いません。例えば観測所や演習林などの各施設の四季の風景写真等なんでも結構です。
2. 形 式：特に問いません。
3. 説明文：簡単な説明文章をつけてください。
4. 締 切：特に期日は設けません。
5. 送り先：京都大学庶務部広報調査課気付
京都大学広報委員会

(京都大学広報委員会)

附属図書館内のリニューアル—利用機能の拡大—

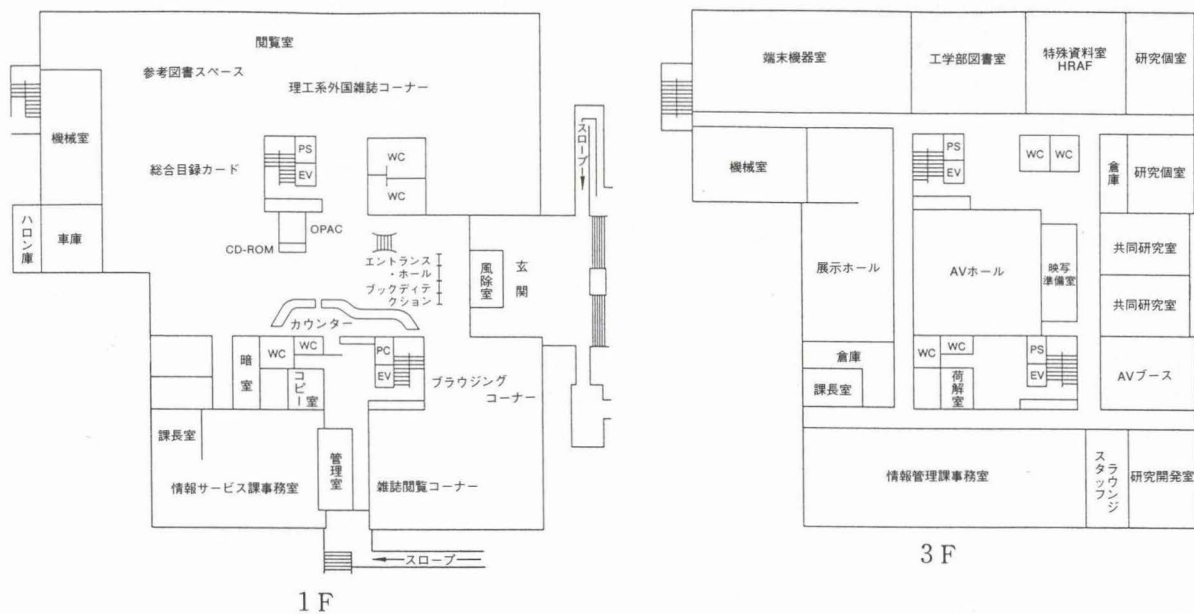
附属図書館では、4月より利用エリアを中心に装いも新たに開館いたします。

入退館システムの更新、エントランスホールの模様替え、雑誌閲覧コーナー等の移動により、一層の機能向上を図りました。

更に、コンピュータ端末機器室、研究開発室を設置し、図書館機能の充実を進めてまいります。

今後ともより使いやすい図書館を目指して、図書館サービスの改善に努めてまいります。

平面図



□開館時間

- ・平 日 午前9時～午後9時
 - ・土曜日・日曜日 午前10時～午後5時
- 但し、夏季休業期間 午前9時～午後5時（土曜日・日曜日は休館）
- 冬季休業期間 〃 （ 〃 ）

□休館日

- ・国民の祝日等
 - ・本学創立記念日
 - ・年末年始および図書整備等、業務上の都合による休館
- 毎月の末日（末日が土曜日又は日曜日にあたる時は、その直後の月曜日）
- 4月1日～4月5日
- 12月25日～翌年1月5日

以上の他、臨時に休館することがあります。

（附属図書館）